

特別支援教育研修「あなたなら、どうする？」シリーズ
研修の進め方

1. 目的	読み書きに困難のある児童生徒への対応について考える演習・協議を通して、「自分に合った方法で学ぶ権利を保障する」という視点について共通理解を図り、特別支援教育における支援・配慮の在り方について理解を深める。
2. 対象	教職員（小・中学校等）
3. 時間	20～30分
4. 形態	全体（説明）→ 個人思考 → グループ協議 → 全体（共有、解説） → 個人思考（省察） ※グループの分け方：2～4人程度のグループ ※学校規模に応じて、学年またはブロック（低・中・高学年）でグループ編成を行う。 ※職員室で実施する場合、席が近い先生でグループを編成してもよい。
5. 準備物	<input type="checkbox"/> ワークシート <input type="checkbox"/> 解説資料 <input type="checkbox"/> 補足資料（解説に必要なものだけでよい）

■ **研修前**

- 学校の実情や教職員のニーズを踏まえ、取り上げるテーマ（Q）を選んでおく。
- 研修会の概要等について、予め会議や紙面等で伝達する。
- グループ構成を決定し、事前に通知する。
- 職員会議や校内委員会等の全体での会議終了後に短時間で実施することもできるため、その場合は管理職と打合せをしておくとうい。

■ **研修当日**（※20分間で実施する例）

流れ	活動内容	留意点等
1 研修の説明、 テーマ（Q）の 提示【全体】 (3分)	○会の目的、流れ、時間を確認して、見通しをもつ。 ○テーマ（Q）のイメージをもつ。	○目的は上記「1. 目的」参照。 ○流れは左欄「流れ」参照。 ○ <u>最初はワークシートのみを配付し、その使い方を説明する。</u>
2 対応の検討 【個人】 (3分)	○自分が考える対応について、「私ならこうする」欄に具体的に記入する。	○様々な考え方があってもよいことを確認する。 ○次の協議に向けて、なぜそのように対応するのか、理由も併せて考えておくよう伝える。

<p>3 対応に関する協議【グループ】 (7分)</p>	<p>○それぞれ記入した対応について出し合い、共有する。 ○必要に応じて、大事だと思った点や気づき等を「ディスカッション」欄にメモする。</p>	<p>○「相手の意見を否定しない」ことをルールとする。 ○正解を検討する協議ではなく、お互いの考えを尊重しつつ本音で語り合う機会とする。</p>
<p>4 各グループの対応に関する共有、解説【全体】 (5分)</p>	<p>○各グループの対応案を共有する。 ○「ワンポイント解説」の内容について共通理解を図る。</p>	<p>○解説資料を配付する（※協議が深まらないため事前に配付しない）。 ○アニマル先生の意見を紹介しながら、各グループでどのような意見が出されたかを確認する（※使用可能な時間に応じて、対応案の共有は省略してもよい）。 ○必要に応じて、補足資料も活用する。</p>
<p>5 学びの振り返り【個人】 (2分)</p>	<p>○本研修のリフレクション（省察）を行い、学びを言語化する。</p>	<p>○最後に、本研修では、読み書きに困難のある児童生徒を取り上げているが、このような考え方が特別支援教育における支援・配慮を検討する上で重要であることを確認する。</p>

■研修後

- ワークシートを回収し、先生方のリフレクション（省察）の内容を次の研修会の企画に生かす。
- 各先生方のリフレクション（省察）の内容を研修だより等に掲載し、校内で共通理解を図る。

研修企画者の先生方にアンケートのお願い

本研究に興味・関心をもっていただき、ありがとうございます。研修コンテンツをより良いものにしていきたいと考えておりますので、校内研修で本コンテンツをご活用いただいた際には、アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

アンケートへの回答はこちらから!

(※Googleフォームに移動します。)



<https://forms.gle/AaiA9BwyP5McSZCV7>